

+ 日赤ふくしま



日本赤十字社
マスコットキャラクター ハートちゃん



石川県能登町の避難所で診療を行う福島県支部救護班

令和6年能登半島地震での災害救護活動

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。日本赤十字社では、救護班（医師・看護師・事務職員等で構成される医療チーム）、日赤災害医療コーディネートチーム、こころのケア班の派遣や、救援物資の配布など全社をあげて救護活動を行ってまいりました。

福島県支部からは、福島赤十字病院のメンバーを中心に1月6日から3月13日まで救護班5班41名、日赤災害医療コーディネートチーム2班6名、こころのケア班1班5名を、能登町・珠洲市・七尾市に派遣しました。また、DMAT（災害派遣医療チーム）の業務調整員や、厚生労働省からの要請による被災地医療機関支援のための看護師を輪島市に派遣するなど、避難所での巡回診療をはじめ、被災された方々に寄り添った活動を行いました。



こころのケア班は、支援者支援として七尾市役所職員にリラクゼーションを実施

能登半島地震における赤十字の活動



職員派遣

医療救護班（DMAT含む）…延べ342班
日赤災害医療コーディネートチーム…延べ119チーム
こころのケア班（調整班除く）…延べ44班
支部支援要員…68名派遣



救援物資の配布

毛布…16,005枚 安眠セット…5,230セット
緊急セット…2,224セット
その他 携帯型簡易トイレ…3,400個



赤十字ボランティア…延べ1,709人が活動

救うを託されている。



日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society

東日本大震災の被災県として能登の方々に少しでも恩返しを



初動救護班として1月7日から9日まで、石川県能登町で避難所の巡回診療や感染症対策、お菓子の供給体制確立などの医療支援にあたりました。

被災地は建物の損壊も甚大でしたが、特に道路状況が悪く被害の大きい地域に迅速な支援が行き届かない状況でした。

また、冬の積雪地域での大規模災害で、高齢者が多い地域でもあることから、健康被害が起きやすい環境でした。

東日本大震災の被災県として、能登の方々に少しでも恩返しを、との思いで活動してきました。



福島赤十字病院
循環器内科 主任部長
渡部 研一 医師
(福島県支部救護班第1班班長)

上：石川県能登町の避難所で巡回診療する渡部医師
下：ブリーフィングにて情報共有する福島県支部救護班

災害時の被災者救護や感染症拡大防止への対応、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、日本赤十字社のいのちを救うさまざまな活動は皆さまからの継続的なご支援に支えられています。

赤十字健康コラム ～脳卒中の「FAST」～

季節の変わり目、特に急に冷え込む時期に増えるのが「脳卒中」です。

脳卒中は、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血といった脳の血管が詰まったり破けたりして生じる病気の総称です。



脳卒中の「FAST」をご存知でしょうか。FAST は脳卒中によくある3つの症状 (Face, Arm, Speech) と、発症時刻 (Time) の頭文字を取った言葉です。

Face：顔の麻痺・顔がゆがむ、Arm：手の麻痺、Speech：言葉が出にくい・ろれつが回らないといった症状が脳卒中に典型的です。症状がみられた場合は、Time：発症時刻を確認し、すぐに救急車を呼んでください。

脳梗塞の発症から数時間以内であれば、血栓を溶かす点滴薬や血栓を取り除くカテーテル手術ができる場合があります。患者さんの脳卒中発症時に近くにいるのはご家族、ご友人であることがほとんどです。大切な方を守るためにぜひ「FAST」を心に留めてください。



福島赤十字病院
脳神経外科 副部長
伊藤 裕平 医師

Thank you
ありがとうの声

献血によって
命を支えられた方々からの
ありがとうのメッセージを
ご紹介します。

輸血経験者からのメッセージを募集しています

福島県赤十字血液センターでは、献血の大切さを広めるための活動として、輸血経験のある方やそのご家族からのメッセージを募集しています。

輸血を受けられたことのある皆さまからこそできる、献血の大切さを広める活動に、ぜひご協力をお願いいたします。



ご投稿はこちらから